



KLab株式会社(3656) ファイナンス及び付帯する発表に関する 補足説明資料

詳細は、「第三者割当による新株式及び第23回新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」を参照ください。

2025.12.05

ファイナンス概要



新株及び新株予約権の発行により資金を確保しつつ、
取締役及び従業員への有償SOの付与を通じて経営の安定を図る

新株
(現金の確保)

新株予約権
(将来の資本拡充)

有償SO
(経営体制の安定)

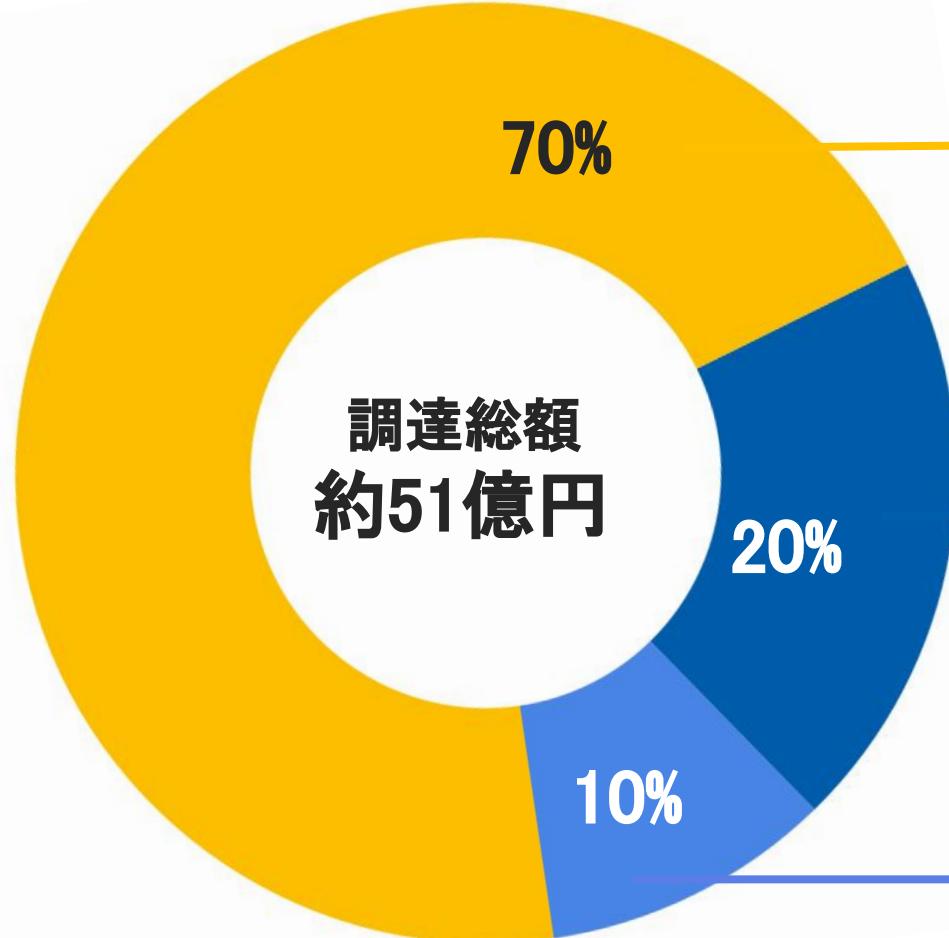


約51億円を調達

固定型なので行使価額207円より株価が下がると行使できない
 株価の下げ圧力を極力抑制

	前回・前々回の調達	今回の調達
スキーム	社債+ワラント	生株+ワラント
行使価額	MS(変動)	固定
保有方針	短期売却が主流	中長期保有+事業連携
市場への影響	継続的な売り圧力・株価の重し	売り圧力限定的・上昇期待
株主価値	希薄化懸念・株価下落リスク ↓	株価向上へ寄与 ↑

調達資金の額及び使途



ビットコイン・金(金ETF等)の購入:36億円
(70%)

財務基盤の強化および余剰資金の運用
(BTC・金(金 ETF 等)の購入)

新規大型モバイルオンラインゲームの企画・開発・運営:10億円(20%)

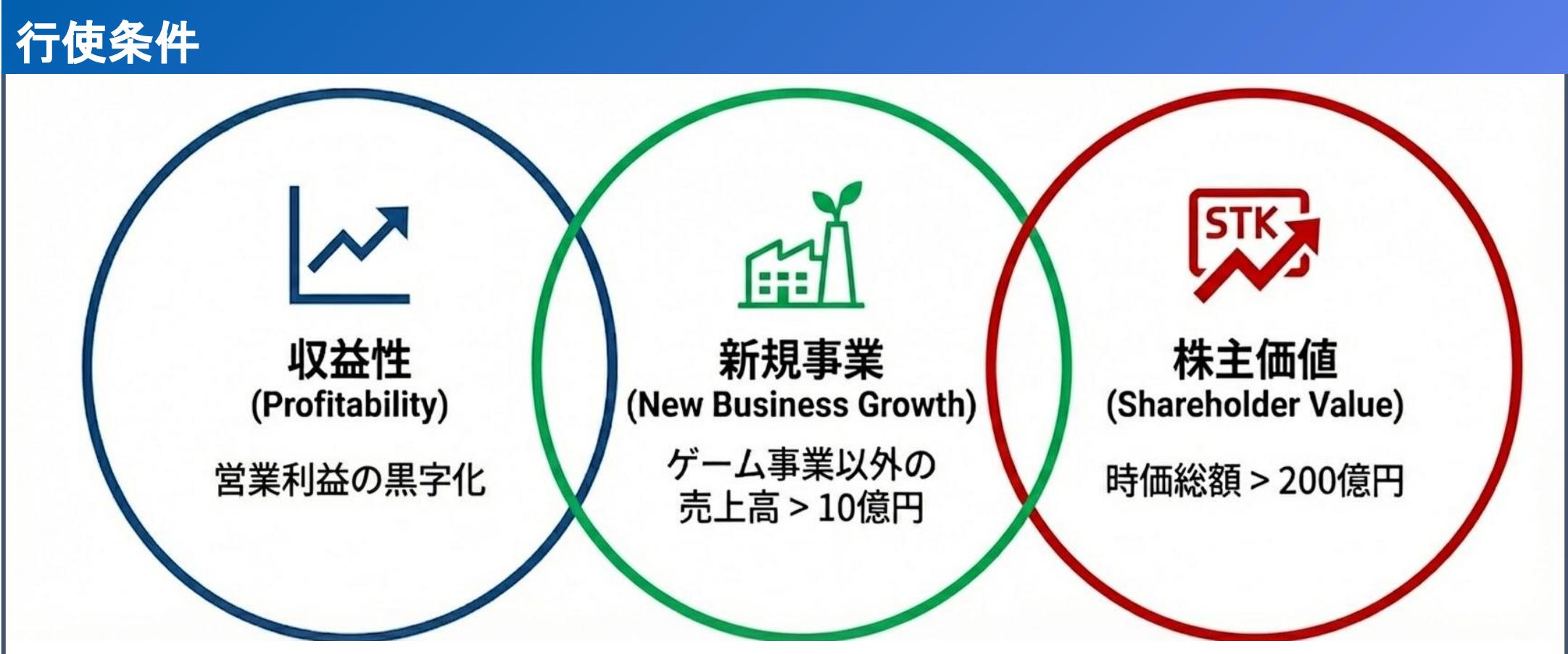
新作タイトルの開発・運営、および IP 獲得によるパイプラインの確保

新規事業の開発:5億円(10%)

将来の収益源となる新規事業創出のための費用および人材確保

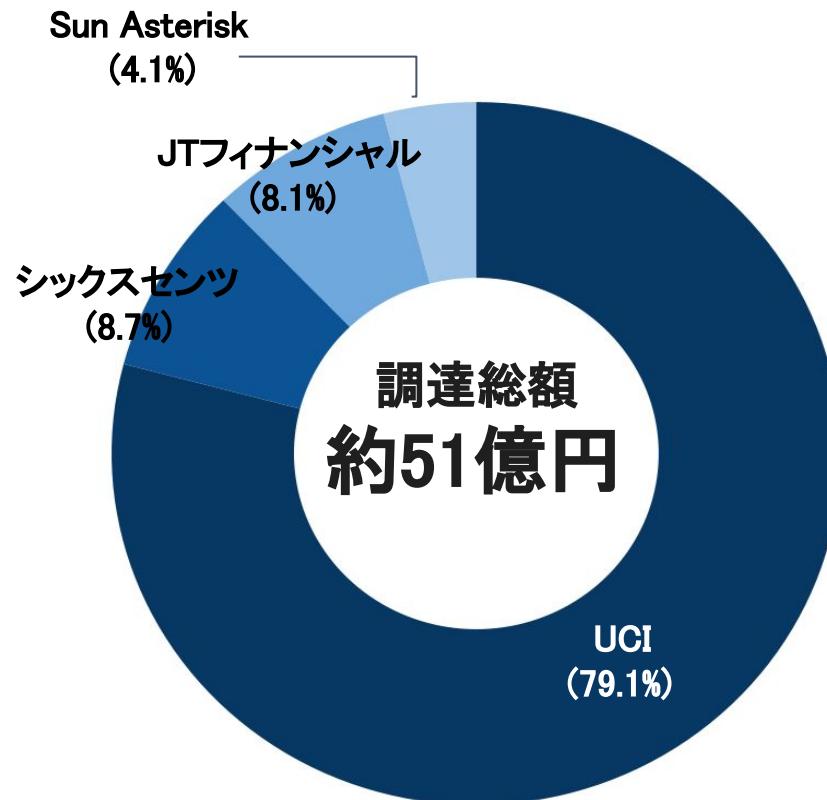
有償ストック・オプションの概要

役員・従業員も、有償ストック・オプション購入でリスクを背負う
行使条件を達成できなければ、SOは行使できず無価値



割当について

調達総額構成比(予定)



割当予定先別・新株/新株予約権(株数)内訳

割当先	新株 (株数)	新株予約権 (株数)	合計 (株数)	合計金額 (千円)
UCI	9,750,000	9,750,000	19,500,000	4,036,500
シックスセンツ (真田 哲弥)	2,000,000	-	2,000,000	444,000
JTフィナンシャル	1,000,000	1,000,000	2,000,000	207,000
Sun Asterisk	1,000,000	-	1,000,000	414,000
合計	13,750,000	10,750,000	24,500,000	5,101,500



合計調達予定額
内訳:

第三者割当増資(普通株式)
新株予約権(行使価額)

合計:2,876百万円
合計:2,225百万円

希薄化率(最大):40.56%

新たな成長を共にする戦略的パートナーシップ



ULTIMATE CLASSIC INVESTMENT LLC (UCI)

UAEの王族をはじめとするグローバルな資金力
中東地域におけるマーケティングに関する知見及びノウハウ

株式会社Sun Asterisk
(東証プライム:4053)

新規事業開発やDX支援・ソフトウェア開発・
テクノロジ一人材の育成等に強み
ゲーム事業面でシナジー創出



JTファイナンシャル有限責任事業組合

当社の大株主である青柳氏が顧問
エンタメ、AI、ブロックチェーンなど幅広い分野に
対する豊富な知識及びネットワーク

株式会社シックスセンツホールディングス

代表取締役社長真田の資産管理会社
経営トップによる企業価値向上への強いコミットメント

資本業務提携へと発展させ、提携関係をより強固に 両社の事業成長を目指す

会社名	株式会社Sun Asterisk（東証プライム:4053）
所在地	東京都千代田区
代表者	小林 泰平
事業内容	デジタル・クリエイティブスタジオ事業
拠点	日本、ベトナム、フィリピン、カンボジア
従業員数	連結2,100名以上(2024年12月時点)
特徴	ビジネス・テクノロジー・クリエイティブの三位一体ワンストップで支援可能 ベトナムを中心に1400人以上のエンジニアとデザイナーが在籍 どの事業フェーズでも対応可能な柔軟さが強み
保有方針	資本業務提携契約の期間中は、本新株式を保有する意向



筆頭株主となるUCI社と緊密な連携を図り、
事業と財務の両面から企業価値向上を目指す

会社名	ULTIMATE CLASSIC INVESTMENT LLC
所在地	アラブ首長国連邦 ドバイ首長国
代表者	雨坂 甲
事業内容	投資業
特徴	UAEの王族をはじめとする投資家が出資する投資会社 暗号資産等の多様な金融資産の知識、中東地域におけるマーケティングの知見・ノウハウを保有
保有方針	本株式を中長期に保有する方針



UAE ラス・アル・ハイマ首長国の王族であるカシミ殿下を顧問として招聘

既存株主である青柳氏からの力強い支持と専門的かつ豊富な知識にて
今後、資金提供にとどまらない貢献を期待

出資者

小澤 常浩
太田 良一

組成目的

有価証券の取得及び保有、経営コンサルティング業務 等

特徴

当社大株主である青柳氏が顧問を務める事業組合
エンタメ、AI、ブロックチェーンなど、当社と近しい領域にとどまらず、
金融等、多方面の分野における豊富な知識と専門的な知見、ネットワークを保有

保有方針

当社の今後の事業展開における成長可能性を高く評価しており、
本株式を中長期に保有する方針

資金使途詳細

現状の課題と事業構造改革

ボラティリティの高いゲーム単一事業構造から、多角経営への転換を図る



- ✓ 競争環境の激化と自社新作タイトルの不発
- ✓ 開発期間の長期化による収益機会の逸失
- ✓ モバイルオンラインゲーム事業への高い依存



- ✓ AI、エンタメ、ブロックチェーン事業領域へ参入
- ✓ 事業の創出に注力
- ✓ 事業ポートフォリオを確立

まずは2026年中の新作タイトルのリリースに向けて確実に開発を進める

新規大型モバイルオンラインゲームの進捗状況

EA SPORTS FC™ TACTICAL

開発中止

ドラゴンクエストスマッシュグロウ

日本及び国内外でオープンベータテストを実施
2026年リリース予定

僕のヒーローアカデミア（仮題）

2026年リリース予定

(未定)新規IPタイトル

2027年以降の新規パイプラインのためのIP獲得活動を実施中

新規事業による収益源の多様化

新規事業は売上高10億円の創出を目指す

9月発表: GPU AIクラウド事業



将来性があり
成長性が高い領域
+
これまでの事業と
親和性がある

10月発表: AIエンタメ事業



発表済みの2事業の他にも、新規事業を検討中

将来的な事業資金の確保

ビットコインと金を組み合わせた革新的財務戦略 デュアル・ゴールド・トレジャリー

ビットコイン
(デジタルゴールド)

ポートフォリオの
成長エンジン(攻め)

数学的・プログラム的必然性
による長期的な価値上昇。



金(金ETF等)
(リアルゴールド)

不变のアンカー
(守り)

市場の混乱時(リスクオフ局面)
に価値を発揮。

増資/ワラントが株価に与える影響①

株価が下がる傾向 ↓

一般的な増資/ワラント発行

PL脳 (EPS視点)

$$\text{株価} = \text{PER} \times \text{EPS} \quad (1\text{株利益} = \frac{\text{純利益} \rightarrow}{\text{株数} \uparrow})$$

増資により分母の株数が増える。分母の利益増加までタイムラグがある
→ EPS低下 → 株価低下

加えて以下が加わることが多い

- ✓ 市場での供給増
- ✓ 資金使途の具体性欠如
- ✓ 株価のピークでの実行

真逆の値動き

株価が上がる↑

ビットコイン・トレジャリー

BS脳 (BPS視点)

$$\text{株価} = \text{PBR} \times \text{BPS} (=1\text{株純資産} = \frac{\text{純資産} \uparrow}{\text{株数} \uparrow})$$

分母の株数が増えるが、分子の純資産はそれ以上に増える可能性大ビットコイン価格上昇 → BPS上昇 → 株価上昇

米ストラテジー社などの代表的なトレジャリー企業は、BTC価格は長期的には値上がりするという市場コンセンサスに支えられ、株数が増えているにもかかわらず株価は上昇した。
一方で、BTC価格の下落タイミングでは株価も下落。BTC保有だけでは事業拡大という複利効果が見込みづらく、プレミアムは低下している。

増資/ワラントが株価に与える影響②

本ファイナンスではBS/PL 両面から株価が下がる要素を極力排除

70%

30%

調達資金をデュアルゴールドトレジャリーと事業資金(ゲーム、新規事業)に7:3で振り分け

BS脳への回答:デュアル・トレジャリー戦略

ビットコインと金の2つの有限資産の分散保有と
そのリバランスにより、ボラティリティ問題を緩和

[純資産増] → [BPS増] → [株価向上]

PL脳への回答:短期での事業利益貢献

資金調達から利益計上までのタイムラグを最小化。2026年に
新作ゲームのリリースを予定し、新規事業も比較的短期間での収
益貢献を目指す。

[分母の株数増 < **分子の利益増**] → [EPS増] → [株価向上]

▶市場での需給が悪化しないような調達スキーム

トレジャリーと事業が相乗効果・複利効果で循環する仕組み



Dual Treasury



Business
Operations



(ご参考)第三者割当後の株主構成について

割当前(2025年6月30日時点)		割当後	
株主名	議決権比率	株主名	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9.75%	ULTIMATE CLASSIC INVESTMENT LLC	23.15%
青柳 和洋	2.99%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6.91%
MACQUARIE BANK LIMITED DBU AC	2.17%	株式会社シックスセンツホールディングス(真田哲弥)	2.37%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2.07%	JTフィナンシャル有限責任事業組合	2.37%
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	1.78%	青柳 和洋	2.12%
MORGAN STANLEY & CO. LLC	1.57%	MACQUARIE BANK LIMITED DBU AC	1.54%
株式会社SBI証券	1.55%	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1.47%
JP JPMSE_LUX RE UBS_AG_LONDON BRANCH EQ CO	1.33%	UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	1.26%
東京短資株式会社	1.24%	株式会社Sun Asterisk	1.19%
松井証券株式会社	1.16%	MORGAN STANLEY & CO. LLC	1.12%

当補足資料におきましては、本日同時に開示いたしました下記の資料をまとめたものです。

掲載先:IRニュース <https://www.klab.com/jp/ir/ir-news/>

- 第三者割当による新株式及び第23回新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ
- 株式会社Sun Asteriskとの資本業務提携契約の締結に関するお知らせ
- ULTIMATE CLASSIC INVESTMENT LLCとの資本業務提携契約の締結に関するお知らせ
- 新株予約権(時価総額及び業績目標達成型有償ストック・オプション)の発行に関するお知らせ

世界と自分をワクワクさせろ

Creating a World of Excitement

社名	KLab株式会社 / KLab Inc.
設立	2000年8月1日
資本金	7,175百万円(2025年11月末時点)
株式公開市場	東京証券取引所・プライム市場(3656)
代表者	代表取締役社長 CEO 真田 哲弥
所在地	本社(東京都港区、六本木ヒルズ森タワー)
主要関連会社	可来软件开发(上海)有限公司 (KLab China Inc.)
グループ従業員数	345名(2025年9月末時点)

お問い合わせ

ディスクレーマー

本資料は、本ファイナンスに関する情報の提供を目的とした資料であり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の内容は、発表日時点での入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。また、本ファイナンスに関する詳細につきましては、2025年12月5日付プレスリリース「第三者割当による新株式及び第23回新株予約権の発行並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

お問い合わせ

【機関投資家の方】

<E-mail> ir@klab.com

【個人の方】

誠に恐れ入りますが、個人の方からのお電話及びメールによるお問い合わせへの対応は行っておりません。

お問い合わせの際は、下記URLのフォームからお願い申し上げます。

<お問い合わせフォーム> https://supportweb.klab.com/corp_ir